

# 政策シート

(政策名) 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化  
 (予算費目名) 観光・シティプロモーション振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

### ◇政策の概要

観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化を目指すため、産業や自然環境などの地域資源を活かし、浜名湖観光圏事業、インバウンド推進事業、コンベンション推進事業等を推進するとともに、文化、商業等の資源を活用した都市型観光の推進などを行う。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	502,509	950,741	2,270,187
決算	465,004	1,003,284	
人件費(A)	84,700	116,300	134,500
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	549,704	1,119,584	2,404,687

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
観光交流客数	千人	-	目標	19,400	20,400	21,000
			実績	18,276	(H29.9確定)	
			目標			
			実績			

### ◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化を目指すため、産業や自然環境などの地域資源を活かし、浜名湖観光圏事業、インバウンド推進事業、コンベンション推進事業等を推進するとともに、文化、商業等の資源を活用した都市型観光の推進などを行う。

### ◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

平成29年のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」放送が決まったことを受け、市長を本部長とする浜松市「おんな城主 直虎」推進本部を設置し、全庁体制で「直虎プロジェクト」を推進した。また、観光団体、経済団体、その他団体・企業等の代表の官民連携により設置された「おんな城主 直虎」推進協議会と協働し、地域全体の活性化を図った。  
 これまでのインバウンド推進事業の取り組みにより、外国人宿泊客をさらに増加できるように取り組んだ。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	観光施設運営事業					331,862	326,262	0.8			
2	観光客誘致事業	○	○	○		643,152	592,652	6.7	1.0		
3	海外戦略推進事業	○	○	○		67,972	51,872	2.3			
4	MICE推進事業	○	○	○		56,016	55,316	0.1			
5	観光宣伝事業	○				107,175	77,075	3.9			1.0
6	ふるさと納税事業			○		1,172,319	1,154,119	2.2			1.0
7	観光施設整備基金積立金					727	27	0.1			
8	観光・シティプロモーション運営経費					25,464	12,864	1.8			
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						#####	2,270,187	17.9	1.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 観光施設運営事業

## ◇事業目的・事業対象

観光施設運営事業

## ◇事業の概要

【館山寺地区観光施設維持管理事業】館山寺地区の観光施設、便益施設を維持管理し、観光客及び施設利用者の利便を図るもの。  
 【東海自然歩道維持管理事業】県から維持管理の委託を受けている東海自然歩道及び付帯施設の維持管理を行う。  
 【観光施設維持修繕事業】当課所管の観光施設、便益施設の維持修繕を行い、観光誘客及び満足度の向上、交流人口の拡大を図る。(観光バス公共駐車場・舞阪駐車場・渚園・弁天島海浜公園・気賀関所・浜松まつり会館・犀ヶ崖資料館・相津マリーナ・国民宿舎奥浜名湖)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	206,600	206,355	326,262
	決算	184,482	215,016	
	国・県支出	6,629	5,970	6,280
	市債			
	その他	110,440	122,185	84,252
	一般財源	67,413	86,861	235,730
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		7,000	5,600	5,600
人工	正規	1.0	0.8	0.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【決算 215,016千円(うち前年度繰越 15,113千円)】  
【館山寺地区観光施設維持管理事業】館山寺地区の観光施設、便益施設を維持管理し、観光客及び施設利用者の利便を図るもの。  
【東海自然歩道維持管理事業】県から維持管理の委託を受けている東海自然歩道及び付帯施設の維持管理を行う。  
【観光施設維持修繕事業】当課所管の観光施設、便益施設の維持修繕を行い、観光誘客及び満足度の向上、交流人口の拡大を図る。(観光バス公共駐車場・舞阪駐車場・渚園・弁天島海浜公園・気賀関所・浜松まつり会館・犀ヶ崖資料館・相津マリーナ・国民宿舎奥浜名湖)

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
観光施設の運営及び維持修繕等を適正に行った。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
観光施設の運営及び維持修繕等を適正に行った。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
観光施設を適切に維持管理し、観光客の利便性、快適性を向上させる。

平成29年度

(管理番号)

01 01 06 01 001705000 01

(担当課)

観光・シティプロモーション課

(責任者)

鈴木 和彦

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

## 行財政改革の取り組み (事業名) 観光施設運営事業

### ◇取組概要

指定管理者制度を導入している国民宿舎奥浜名湖の更なる民間活力の導入に向けた取り組みを行う。

### ◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 \_\_\_\_\_

取組事項名 \_\_\_\_\_

個別計画等 計画名等 \_\_\_\_\_

政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	納入金(円)	計画値	20,809	24,019	24,260	24,502	(H31)24,747
		実績値	21,600	24,267			
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

### ◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

国民宿舎奥浜名湖の民活導入として、指定管理者制度を導入し、計画どおりの納付金収入があった。  
(指定管理期間:H28.4.1~H33.3.31)

# 事業シート (事業名) 観光客誘致事業

## ◇事業目的・事業対象

本市最大のイベントである「浜松まつり」や「出世の街浜松 家康公祭り」等の開催により、国内外へ本市をアピールすることで、観光誘客及び交流人口の拡大を図り、新たな文化・観光の創出による都市の魅力の向上を図るとともに、国土交通大臣認定の「観光圏」として、浜名湖周辺地域の官民が連携し魅力向上、情報発信等の事業を推進することにより、浜名湖周辺地域への国内外からの誘客及び滞在促進を図る。

## ◇事業の概要

- 浜松まつり事業
  - ・本市最大のイベントである浜松まつりを開催することにより、観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。
- 出世の街浜松家康公祭り事業
  - ・出世の街浜松家康公祭りを開催し、国内外への浜松のアピールをはじめ、観光誘客及び交流人口の拡大、さらには家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら都市の魅力を上向きさせることを目指す。
- 【重点戦略項目 No.17】
- 浜名湖観光圏整備推進支援事業
  - ・浜名湖周辺の官民で構成する「浜名湖観光圏整備推進協議会」において事業実施。
  - ・国の「観光地域ブランド確立支援事業」の支援を受け、事業を実施する。
- 直虎プロジェクト推進事業
  - ・大河ドラマ放送を契機に奥浜名湖をはじめとする市域全体の受入体制を整備するとともに、井伊直虎ゆかりの地を活用した誘客を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)	-	○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	201,834	561,601	592,652
	決算	114,666	616,130	
	国・県支出	18,397	15,000	
	市債			
	その他	100	24,300	
	一般財源	96,169	576,830	592,652
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		13,300	50,500	50,500
人工	正規	1.9	6.7	6.7
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
観光交流客数(千人)				Ⅲ-2(2)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,400	21,000	23,700		-
実績値	18,276	(H29.9確定)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
滞在プログラム数(件)						17
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	70	80	100	115	150
実績値	64	59				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

## ◇平成28年度の事業評価

### ・平成28年度の事業の概要

【決算 616,130千円(うち前年度繰越 114,370千円)】

#### ■浜松まつり事業

・本市最大のイベントである浜松まつりを開催することにより、観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。

#### ■出世の街浜松家康公祭り事業

・出世の街浜松家康公祭りを開催し、国内外への浜松のアピールをはじめ、観光誘客及び交流人口の拡大、さらには家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら都市の魅力を上向きさせることを目指す。

【重点戦略項目 No.17】

#### ■浜名湖観光圏整備推進支援事業

・浜名湖周辺の官民で構成する「浜名湖観光圏整備推進協議会」において事業実施。

・国の「観光地域ブランド確立支援事業」の支援を受け、事業を実施する。

#### ■直虎プロジェクト推進事業

・大河ドラマ放送を契機に奥浜名湖をはじめとする市域全体の受入体制を整備するとともに、井伊直虎を活用した誘客を図る。

### ・事業の成果と課題

指標の達成度

観光交流客数は目標に若干届かなかったものの、滞在プログラム数は目標を上回ることができた。地域の観光を担う人材の育成やレベルアップが必要である。また、直虎プロジェクトの推進に向け、啓発受入、誘客宣伝、環境整備、交通輸送の4つのワーキングを中心として、受入環境整備を万全に進めていく取り組みを進めた。

### ・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

直虎プロジェクト推進事業では、市民啓発のための講演会や市内各所における広告・広報、小・中学生への直虎紹介冊子の配布など啓発事業に取り組んだ。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成29年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」放送が始まったことを受け、本市全域において観光客の受入体制を整備するとともに、井伊直虎ゆかりの地を前面に出した誘客を図っていく。

## 補助シート (事業名) 観光客誘致事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
17	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり ・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり ・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり

# 事業シート (事業名) 海外戦略推進事業

## ◇事業目的・事業対象

アジア地域をはじめとした海外からの観光客増加のため、都市間交流の推進と新規マーケット開拓やトップセールス等を実施し本市の国際的認知度を向上させるとともに、外国人観光客が快適な観光を楽しめるよう受入れ態勢を構築するもの。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目 No.13、14、18】

### ■インバウンド推進事業

- ・ビジットハママツ推進事業
- ・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金
- ・広域連携団体負担金
- ・多言語版観光パンフレット等作成 ほか

### ■グローバル人材活用事業

- ・国際交流員の招致
- ・CLAIRの制度を活用し、友好都市の瀋陽市から職員受入れ
- ・台湾連絡員の設置

### ■湖サミット開催事業

- ・浜名湖、西湖、日月潭の3湖の関係を軸に浜名湖で湖サミットを開催

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	12,123	42,393	51,872
	決算	40,529	37,964	
	国・県支出	12,704	9,644	
	市債			
	その他			
	一般財源	27,825	28,320	51,872
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		19,600	16,100	16,100
人工	正規	2.8	2.3	2.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
海外戦略担当部署の設置				-		13
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	設置に向けた検討	達成	-	達成	-	-
実績値	達成					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
トップセールスの実施回数(回)				-		14
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	3	3	3	3	3
実績値	3	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
無料Wi-Fi整備支援件数(件)				-		18
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	16	20	50(累計)		
実績値	14	19				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
外国人宿泊客数(千人/年)				Ⅲ-2(2)イ		13
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	215	236	257	280	300	
実績値	399	333				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.13、14、18】

■インバウンド推進事業

- ・ビジットハママツ推進事業
- ・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金
- ・広域連携団体負担金
- ・多言語版観光パンフレット等作成 ほか

■グローバル人材活用事業

- ・国際交流員の招致
- ・CLAIRの制度を活用し、友好都市の瀋陽市から職員受入れ
- ・台湾連絡員の設置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

花の魅力を支柱として重点的にターゲット地域に行ったセールスは、台湾やシンガポールからの送客増には結び付いたが、中国からの団体ツアーやビジネス客の減少を埋められず、全体的には宿泊客の減少という結果となっている。一方、市長トップセールスにより、台湾の日月潭との新たな交流協定を締結できた。民間事業者とも連携し、協定に基づく具体的な事業を相互に実施する仕組みも構築できた。また、本市の特長である音楽交流に注目する教育旅行ニーズが増えるなど、観光PRの成果が上がりつつある。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  一部委託  /  事業費  現状  人工  現状

訪日旅行の形態が、団体から個人にシフトしているが、今のところ、中国からの団体客は量も多いため、本市のインバウンドの柱に据えていく。個人旅行者をターゲットとした誘客は、今後、ビューローを改組しDMOとして機能強化する中で、マーケティングに基づいた戦略を練り、一層充実させていく。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  一部委託  /  事業費  現状  人工  現状

- ・中国のみならず、台湾やアセアン地域からの誘客を強化し、中長期的にこうした地域からの宿泊者数を増加させる。
- ・個人旅行の形態が進む市場を対象に、2次交通のパスを活用したモデルコースの作成やプロモーションを展開する。
- ・DMOを組織し、体験型コンテンツの造成とコンテンツを手配する仕組みを一元的に構築する。
- ・友好都市等の関係や民間との連携、トップセールスを活用した効果的なプロモーションを実施する。

平成29年度

(管理番号)

01 01 06 01 001705000 03

(担当課)

観光・シティプロモーション課

(責任者)

鈴木 和彦

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) 海外戦略推進事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
13 14	・ターゲット地域へのプロモーション ・西湖-浜名湖連携プロモーション	・ターゲット地域へのプロモーション	・ターゲット地域へのプロモーション	・ターゲット地域へのプロモーション
18	・外国人観光客受入態勢の整備	・外国人観光客受入態勢の整備	・外国人観光客受入態勢の整備	・外国人観光客受入態勢の整備

# 事業シート (事業名) MICE推進事業

## ◇事業目的・事業対象

本市の観光広報宣伝・コンベンション支援を行い、コンベンションの誘致、交流客数の増加を図る。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目No.15】  
 ■コンベンション推進事業  
 ○観光・コンベンション推進事業業務委託  
 ・委託先:(公財)浜松観光コンベンションビューロー  
 ・業務内容:『地域が一体となった観光・コンベンション誘致事業推進体制の整備、観光地域づくり』、『コンベンションの振興』、『観光振興』『本市及び本市関連組織が実施する事業への積極的な関与及び民間事業者への周知、民間事業者と連携した組織体制の構築、強化』  
 ○コンベンション開催支援事業負担金  
 ・交付先:(公財)浜松観光コンベンションビューロー  
 ・事業内容:コンベンションの主催者に対する支援(助成金等)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H1	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算		55,115	55,316
	決算	52,830	54,926	
	国・県支出	22,139		
	市債			
	その他			
	一般財源	30,691	54,926	55,316
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	700	700
人工	正規	0.5	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
国際会議等誘致件数(件)				-		15
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	3	3	3	3	3
実績値	4	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新規賛助会員数(団体)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	35	35	35	-	-	-
実績値	82	6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
コンベンション支援件数(件)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	170	200	200	-	-	-
実績値	171	166				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
滞在プログラム参加者数(人)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1,000	1,100	1,100	-	-	-
実績値	3,778	3,055				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.15】  
**■コンベンション推進事業**  
 ○観光・コンベンション推進事業業務委託  
 ・委託先:(公財)浜松観光コンベンションビューロー  
 ・業務内容:『地域が一体となった観光・コンベンション誘致事業推進体制の整備、観光地域づくり』、『コンベンションの振興』、『観光振興』『本市及び本市関連組織が実施する事業への積極的な関与及び民間事業者への周知、民間事業者と連携した組織体制の構築、強化』  
 ○コンベンション開催支援事業負担金  
 ・交付先:(公財)浜松観光コンベンションビューロー  
 ・事業内容:コンベンションの主催者に対する支援(助成金等)

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
 浜松観光コンベンションビューローを中心として、官民一体となった推進体制により、観光・コンベンションの魅力向上、情報収集と発信に向けた事業を実施した。ターゲットを明確にした取り組みの結果、滞在プログラム参加者数は目標を達成することができた。コンベンション開催支援を強化するため、開催支援事業負担金を増額したが、コンベンション支援件数は、誘致の柱となるアクトシティの稼働率が高いために利用ができないことで頭打ちとなっている。新規賛助会員の増加は、日本版DMOへの移行を検討するなか、会員制度の抜本的な見直しも見据えて調整段階にある。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

MICE市場において競争力をつけるために支援制度の見直しを図り、宿泊補助の上限件数を上げるなど開催支援事業負担金を充実させた。あわせて、長期的に誘致会議の充実を図るため、若手の有望な学識経験者などへのセールスを拡充するなど戦術の見直しも図っている。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

アクトシティの稼働率が高いという現状を鑑み、増額したコンベンション開催支援事業負担金を活用して、量より質を重視した会議の誘致に比重を置き、引き続き活動の充実を図っていく。

## 補助シート (事業名) MICE推進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンションの誘致</li> <li>・コンベンションの支援</li> </ul>			

## 行財政改革の取り組み (事業名) MICE推進事業

### ◇取組概要

行革審答申により、組織の強化、経営の効率化を図るため、他団体との統合を進めることとされているが、設立・事業目的の相違などにより、統合のメリットを見出しにくい。専門性の向上などによる組織強化を図り、将来の他の観光協会との統合を視野に連携体制を構築していく。

### ◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4001-10  
 取組事項名 (公財)浜松観光コンベンションビューローの経営健全化

個別計画等 計画名等 外郭団体コミットメント

### 政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

### ◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

# 事業シート (事業名) 観光宣伝事業

## ◇事業目的・事業対象

観光案内ツールの作成や観光案内所等の運営による情報発信、広域の観光振興団体への参画、市内各地域の観光事業の振興、ロケの誘致、特産品のPRなどにより本市への観光誘客を推進し、観光振興を図る。

## ◇事業の概要

- 観光案内推進事業
  - ・観光インフォメーションセンター、観光案内所、ツーリズムセンターの運営及び観光案内ウェブサイトの管理運営のほか、観光パンフの作成、広告の掲出など、本市の魅力や観光情報を発信し、観光誘客の拡大を図る。
- 観光宣伝支援事業
  - ・観光振興を目的とする各種団体に参画し広域観光PR等の事業、団体内での情報収集等で観光振興を図る。
- 観光振興助成事業
  - ・市内各地域の観光事業の振興とその円滑な推進を図ることにより、本市の観光誘客力を強化する。
- フィルムコミッション推進事業
  - ・浜松市内へのロケ誘致やロケ支援を行うことにより、ロケ隊の直接的経済効果に加え、放映による本市の知名度の向上、集客力の強化、観光誘客による地域の活性化を図る。
- 特産品カタログギフト事業
  - ・本市が全国に誇る特産品等をまとめたカタログを作成、販売し、本地域のブランド化を図り観光誘客を促進する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)		○	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	68,161	71,164	77,075
	決算	60,554	67,362	
	国・県支出			
	市債			
	その他	5,000	17,000	9,000
	一般財源	55,554	50,362	68,075
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		26,600	30,100	30,100
人工	正規	3.4	3.9	3.9
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	1.0	1.0	1.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
観光交流客数(千人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	19,400	20,000	21,500	22,600	23,900	-
実績値	18,276	(H29.9確定)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

■観光案内推進事業  
 ・観光インフォメーションセンター、観光案内所、ツーリズムセンターの運営及び観光案内ウェブサイトの管理運営のほか、観光パンフの作成、広告の掲出など、本市の魅力や観光情報を発信し、観光誘客の拡大を図る。

■観光宣伝支援事業  
 ・観光振興を目的とする各種団体に参画し広域観光PR等の事業、団体内での情報収集等で観光振興を図る。

■観光振興助成事業  
 ・市内各地域の観光事業の振興とその円滑な推進を図ることにより、本市の観光誘客力を強化する。

■フィルムコミッション推進事業  
 ・浜松市内へのロケ誘致やロケ支援を行うことにより、ロケ隊の直接的経済効果に加え、放映による本市の知名度の向上、集客力の強化、観光誘客による地域の活性化を図る。

■特産品カタログギフト事業  
 ・本市が全国に誇る特産品等をまとめたカタログを作成、販売し、本地域のブランド化を図り観光誘客を促進する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

観光交流客数は目標値に若干届かなかったが、新規に設置したフィルムコミッション推進室の取り組みにより、ロケ支援件数が大きく伸びている。支援作品を活用したロケツーリズムなど交流客数の増加につなげる取り組みが必要がある。また、観光関係団体への負担金については、加入目的を明確にするとともに、金額とその費用対効果等を検討する必要がある。

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

フィルムコミッション推進室を設置し、専任職員を設けた中で、支援活動が軌道に乗ってきたことに伴い、ロケ支援件数が大きく伸びた。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

観光協会を統合した天竜区内の観光振興のため、ツーリズムセンターを拡充していく。

# 事業シート (事業名) ふるさと納税事業

## ◇事業目的・事業対象

ふるさと納税(寄附金)において、寄附金の増収を図るとともに、地域産品等の返礼を通じて浜松市の魅力を広くPRする。

## ◇事業の概要

### ■ふるさと納税事業

- ・ふるさと納税制度による寄附の受付。
- ・寄附者に対する返礼品及び受領証明書の発送。
- ・返礼品の拡充に向けた提供事業者の募集及び審査。
- ・寄附金の増収に向けたプロモーションの実施。
- ・ふるさと納税制度を活用した浜松市のPR。
- ・寄附金税額控除に係る申告特例申請(ワンストップ特例申請)の受付及び寄附者住所地自治体への通知。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算			1,154,119
	決算			
	国・県支出			
	市債			
	その他			1,154,119
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				18,200
人工	正規			2.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			1.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ふるさと納税寄附額(百万円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	85	1,500			1,500
実績値	31	86※H29.5確定				
ふるさと納税寄附件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,580	75,000			75,000
実績値	1,673	764※H29.5確定				
ふるさと納税返礼品(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
ふるさと納税返礼品(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- ふるさと納税事業
- ふるさと納税業務包括委託契約
- ・委託先: (株)トラストバンク
- ふるさと納税業務委託
- ・委託先: (株)さとふる

・事業の成果と課題

指標の達成度

民間事業者が運営する「ふるさと納税ポータルサイト」と契約を締結し、寄附者の利便性を高めるとともに、返礼品の充実を図った。本市のふるさと納税制度の魅力を高めたことで、目標を大幅に上回る実績を上げることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」及び「さとふる」による寄附の受け付けを開始した。
- ・上記「業務委託」によって寄附者の利便性を高め、全国から寄附を受け付けできる体制を整えたことで、目標を大幅に上回る実績を上げることができた。
- ・一方、寄附件数・金額の増加に比例し、事業費・事務量ともに大幅に増加したため、補正予算や業務応援等によって対応した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・観光・シティプロモーション課に事務移管した効果を最大限に発揮するため、今後は返礼品を通じた本市における魅力のPRなど、ふるさと納税制度を活用したプロモーションを積極的に実施していく。
- ・総務省や他都市の動向を注視し、返礼品の見直しなど制度の適正化に向けた取り組みを進めていく。
- ・さらなる寄附金の増加に向け、返礼品の充実など本市のふるさと納税制度の魅力向上を図っていく。
- ・寄附件数やワンストップ特例申請の増加に伴う事務量の増大に対応するため、必要人工の拡大が見込まれる。

## 事業シート (事業名) 観光施設整備基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に、基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てる。

### ◇事業の概要

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に、基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てる。

当初、入湯税のうち予算で定める額を毎会計年度積み立てていたが、平成6年度より、入湯税の積み立てはされていない。現在、金融機関での基金運用により発生する利子の積み立てを行っている。

浜松市観光施設整備基金に関する条例第6条(処分)に合致した整備事業を行う際、予算で定める額を一般会計へ繰り出す。(現在、積み立てられている基金の入湯税は、館山寺温泉からのものである)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	270	141	27
	決算	270	141	
	国・県支出			
	市債			
	その他	270	141	27
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に、基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てる。  
当初、入湯税のうち予算で定める額を毎会計年度積み立てていたが、平成6年度より、入湯税の積み立てはされていない。現在、金融機関での基金運用により発生する利子の積み立てを行っている。  
浜松市観光施設整備基金に関する条例第6条(処分)に合致した整備事業を行う際、予算で定める額を一般会計へ繰り出しする。(現在、積み立てられている基金の入湯税は、館山寺温泉からのものである)

・事業の成果と課題

指標の達成度

新事業、整備事業等の予算確保が厳しくなっているため、温泉利用地区の事業については、基金をうまく活用した事業展開が必要である。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 事業シート (事業名) 観光・シティプロモーション運営経費

## ◇事業目的・事業対象

観光・コンベンション振興業務を円滑に遂行するために必要な諸経費。

## ◇事業の概要

観光・コンベンション振興業務を円滑に遂行するために必要な諸経費。  
また、専門家からのアドバイスを観光政策に活かすため、観光アドバイザーを委嘱。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	13,521	13,972	12,864
	決算	11,673	11,745	
	国・県支出			
	市債			
	その他	147	143	142
	一般財源	11,526	11,602	12,722
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		14,000	12,600	12,600
人工	正規	2.0	1.8	1.8
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

観光・コンベンション振興業務を円滑に遂行するために必要な諸経費。  
また、専門家からのアドバイスを観光政策に活かすため、観光アドバイザーを委嘱。

・事業の成果と課題

指標の達成度

全国的な観光のトレンドを把握し、市や観光コンベンションビューロー、民間事業者へのアドバイス、観光施策等が検討でき、必要に応じて地域への啓発や講演などができる人物を選定した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成29年度開始予定のDMOの設立に向け、さらに有能な人材を確保していく必要がある。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工